

# CMS Designer 一括入力支援システム使用の手引き

Copyright 2009 (株)アイジューピタ

## 1. はじめに

この度は、「CMS Designer 一括入力支援システム」をご利用いただき、誠に有難うございます。  
当ドキュメントでは、本システムを使ったデータ作成の方法について、手順を追って説明します。

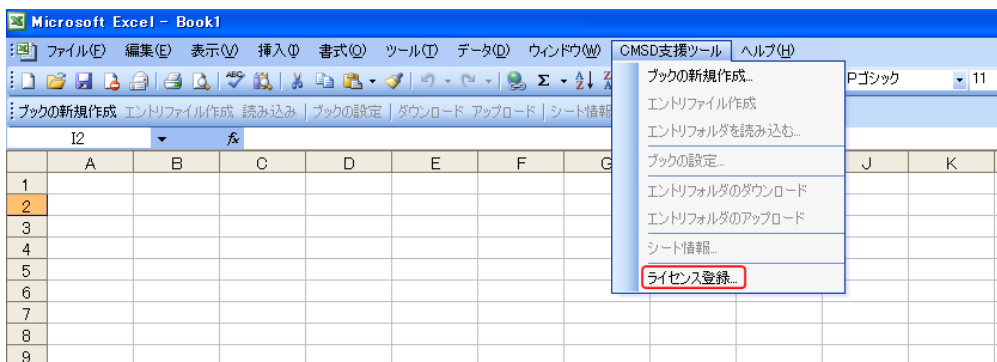
当ドキュメントは Microsoft Excel に関する基本的な使用方法について理解がある方を対象としています。

## 2. インストール

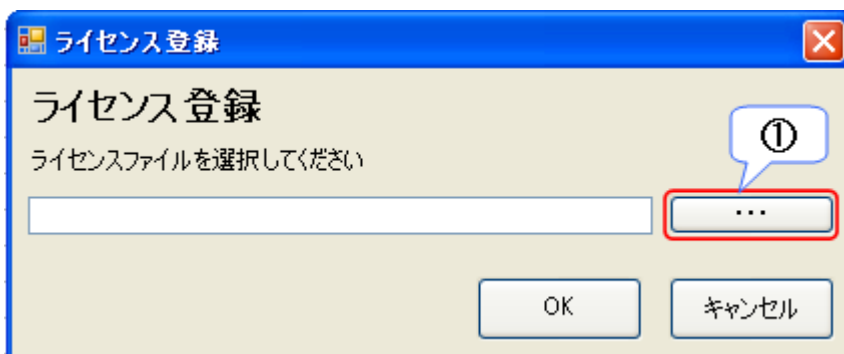
- zip パッケージを解凍します。
- setup.exe をダブルクリックするとインストールが開始します。
- インストーラの指示に従ってインストールを行います。

## 3. ライセンスの登録

本システムをインストールすると、Excel の画面に以下のようなメニューとツールバーが追加されます。  
ライセンス申請後、弊社からお送りした、ライセンスファイルを、「ライセンス登録」メニューから登録してください。



(図 ライセンス登録)



この画面では、次の順番で操作します。

- 1 をクリックするとファイル選択画面が表示されます。
- 2 ライセンスファイルを指定してください。

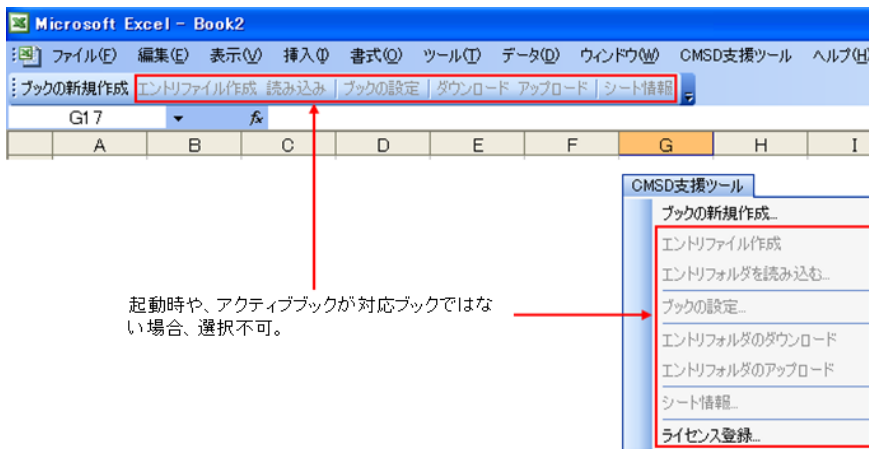
ライセンス登録はこれで終了です。

(評価版の場合、新規ブックの追加が3回までしか出来ません)

## 4. 基本的な使用方法

### 4.1 始めに

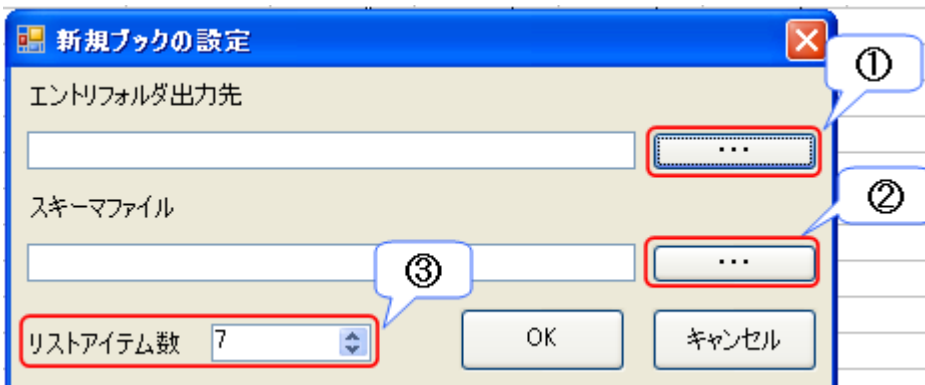
本システムをインストールしますと、Excel の画面に以下の様なメニューとツールバーが追加されます。



(図 初回起動時のメイン画面)

選択ブックが本システムに対応していない場合、上図の様にブックの「新規作成」と「ライセンス登録」以外の項目が選択できない状態になっています。初回起動時の場合、対応ブックがありませんので、「ブックの新規作成」をクリックして対応ブックを作成します。

「ブックの新規作成」をクリックすると「新規エントリデータの設定」画面が表示されます。



(図 新規ブックの作成)

この画面では、次の順番で操作します。

- 1 をクリックし、エントリフォルダの出力先を選択します。
- 2 をクリックし、スキーマファイルを選択します。
- 3 OK ボタンをクリックします
- 4 「スキーマ読み込みを行います。よろしいですか?」とメッセージが表示されますので、「OK」を選択してください。
- 5 リストを使用する場合はここでアイテム数を設定することができます。

「エントリデータ」シートに、エントリデータ入力項目が表示されれば、エントリデータ入力準備完了です。

	B	C	D	E	F	G	H	I
1	公開設定	公開期間		エントリID	エントリ日時	見出し	リンク先	画像
2	公開設定	開始	終了	エントリID	エントリ日時	title	url	Image
3	公開設定	開始	終了	エントリID	エントリ日時	Text	Text	Img

## 4.2 エントリーデータを入力します

「エントリーデータ」シートを選択して、エントリーデータを入力します。

	B	C	D	E	F	G	H	I
1	公開設定	公開期間		エントリーID	エントリー日時	見出し	リンク先	画像
2		開始	終了			title	url	Image
3				Text	Text	Text		
4				テスト	テスト	ですとねこ1.jpg		

(図 エントリーデータ入力例)

この画面には2通りの入力方法があります。

テキスト入力

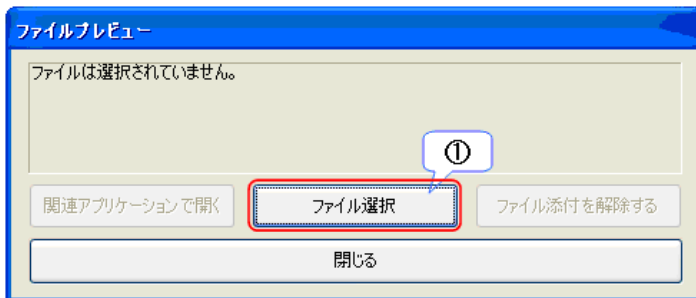
通常の Excel と同じ操作で入力します。

ファイル選択

ダブルクリックでファイルプレビュー画面を表示して、ファイルを選択します。

ファイルプレビュー画面では次のように操作します。

1. の「ファイル選択」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択画面で任意のファイルを選択します。
3. 入力項目が img、file の場合は、該当の形式以外のファイルを選択するとエラーが発生します。
4. の選択セルにファイル名が表示されます。



	B	C	D	E	F	G	H	I
1	公開設定	公開期間		エントリーID	エントリー日時	見出し	リンク先	画像
2		開始	終了			title	url	Image
3				Text	Text	Text		
4				テスト	テスト	ですとねこ1.jpg		

(図 空のファイル入力セルをダブルクリックした場合の表示例)

ファイルプレビュー画面でできること。

すでに登録済みのセルを選択すると、全てのボタンが有効になります。それぞれのボタンでは次の事が行えます。



(図 一度ファイルを選択した状態でファイル入力セルをダブルクリックした場合の表示例)

この状態では、以下の3つの操作ができます。

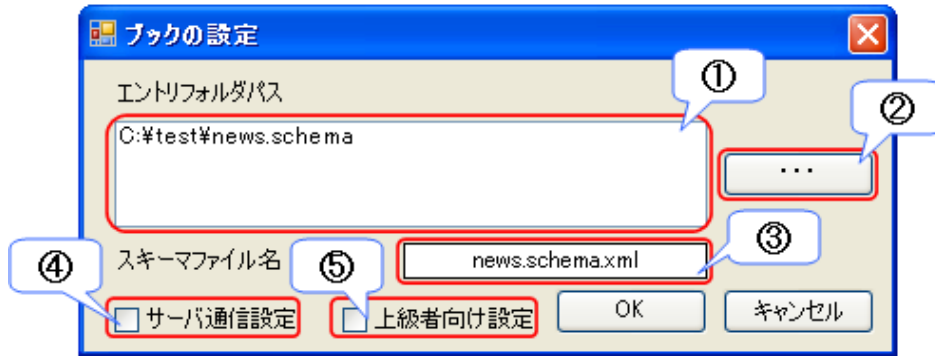
1. をクリックし、ファイルの拡張子に関連したアプリケーションでファイルを開きます。  
テキストファイルであればメモ帳で開く、など。
2. をクリックし選択ファイルを変更します。ファイル選択ダイアログが表示されます。
3. をクリックし選択したファイルを添付状態から解除します。セルの内容が空に戻ります。

#### 4.3 入力したデータをエントリファイルとしてエントリフォルダに保存します。

エントリデータの入力が終了後、以下の手順で、エントリファイルをエントリフォルダへ出力します。

1. メニュー又はツールバーの「エントリファイル作成」をクリックします。
2. 入力データの誤りがある場合は、エラーメッセージが表示されます。
3. エントリファイルの出力に成功した場合、「完了しました。」というメッセージが出力されます。

## 5. 応用テクニック ブックの設定

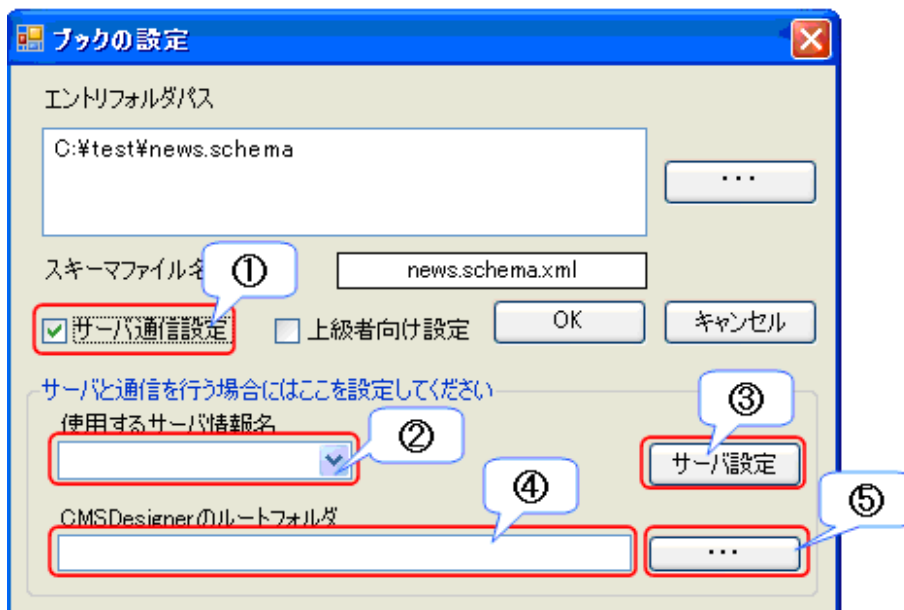


(図 ブックの設定画面)

- 現在選択されているエントリフォルダのフルパスが表示されます。
- エントリフォルダを選択するための、フォルダブラウザを表示します。
- 選択されているスキーマファイル名が表示されます。
- サーバ通信設定パネルを表示します。
- 上級者向け設定パネルを表示します。

### 5.1 ブックの設定 サーバ通信設定

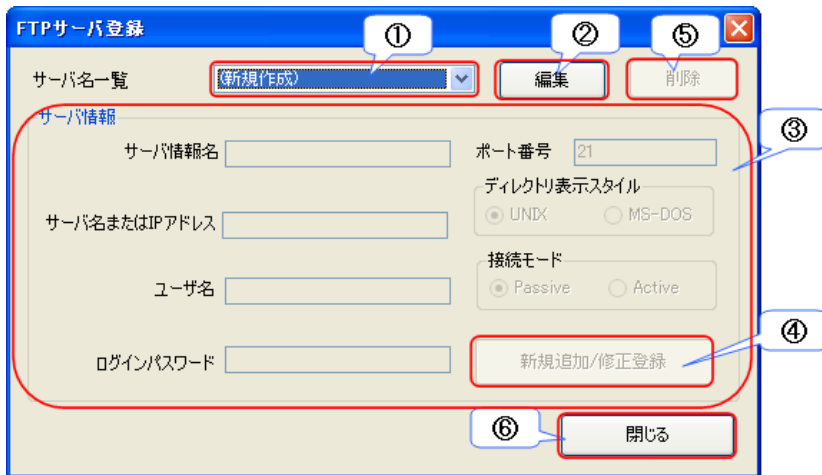
本システムでは、サーバとFTP通信を行いエントリフォルダのアップロード・ダウンロードが可能です。そのためには以下の通りにサーバの情報を設定することが必要となります。



(図 ブックの設定画面 サーバ通信設定パネル表示時)

- のチェックボックスへチェックを入れ、FTP通信設定パネルを表示します。
- 既に作成済みのFTP設定を使用する場合には のコンボボックスより、使用するFTP設定を選択します。
- 新規でFTP設定を作成する場合には、 のサーバ設定ボタンをクリックし、FTPサーバ登録画面を表示します。  
FTP設定の方法については後述。
- をクリックし、サーバ内フォルダの選択を行います。選択中のサーバ情報が正しくない場合はエラーが発生します。  
に選択したフォルダのパスが表示されます。

## 5.2 FTPサーバ登録

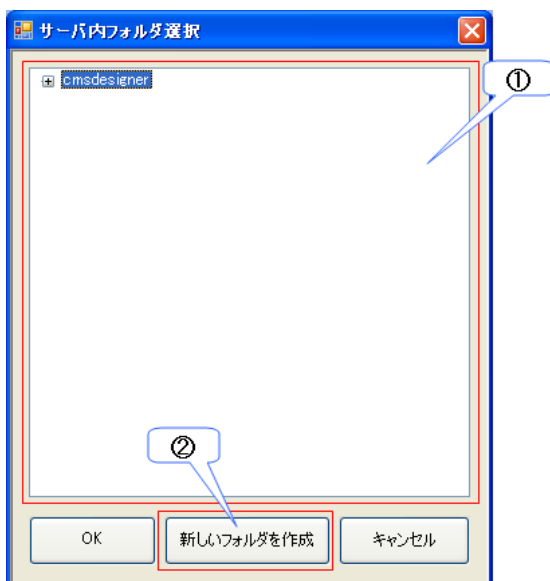


(図 FTPサーバ登録画面)

1. のコンボボックスの(新規作成)を選択します。  
既存のサーバ情報を修正する場合は、 のコンボボックスの修正したいサーバ情報名を選択します。
2. 「編集」ボタンをクリックします。
3. の「サーバ情報内の項目を入力します。」
4. の「新規追加/修正登録」ボタンをクリックすることで登録が完了します。  
「新規追加/修正登録」ボタンは「サーバ情報名」、「サーバ名またはIPアドレス」、「ポート番号」未入力状態では登録出来ません。
5. 登録してあるサーバ情報を削除する場合は、 のコンボボックスで削除したいサーバ情報を選択し、 の「削除」ボタンをクリックします。
6. 登録をせず終了する場合は、 の「閉じる」ボタンをクリックして下さい。

## 5.3 サーバ内フォルダ選択

1. のリストビューに表示されているフォルダからルートフォルダを選択します。
2. ルートフォルダを新しく作成する場合は、 の「新しいフォルダを作成」ボタンをクリックすると、作成するフォルダ名を入力する画面が表示されます。  
新しく作成したフォルダは、現在選択中のフォルダの中に作成されます。



(図 サーバ内フォルダ選択画面)

## 6. 応用テクニック エントリフォルダを読み込む

任意のフォルダからエントリファイルを読み込み、ブックに出力することが出来ます。

1. スキーマを読み込みます。
2. メニューの「エントリフォルダを読み込む...」または、ツールバーの「読み込み」をクリックします。
3. フォルダ選択画面が表示されます。
4. フォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。
5. Excel の「エントリデータ」シートにエントリデータが表示されたら読み込み成功です。

## 7. 応用テクニック サーバにエントリフォルダをダウンロードする

この項目は、必ずサーバ情報を設定した後に実行して下さい。

1. メニューの「エントリフォルダのダウンロード」または、ツールバーの「ダウンロード」をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。
3. サーバ内のエントリフォルダからエントリファイルをダウンロードします。
4. ダウンロードが成功した場合、自動的にデータが読み込まれます。
5. ブックにデータが反映されたら読み込み成功です。

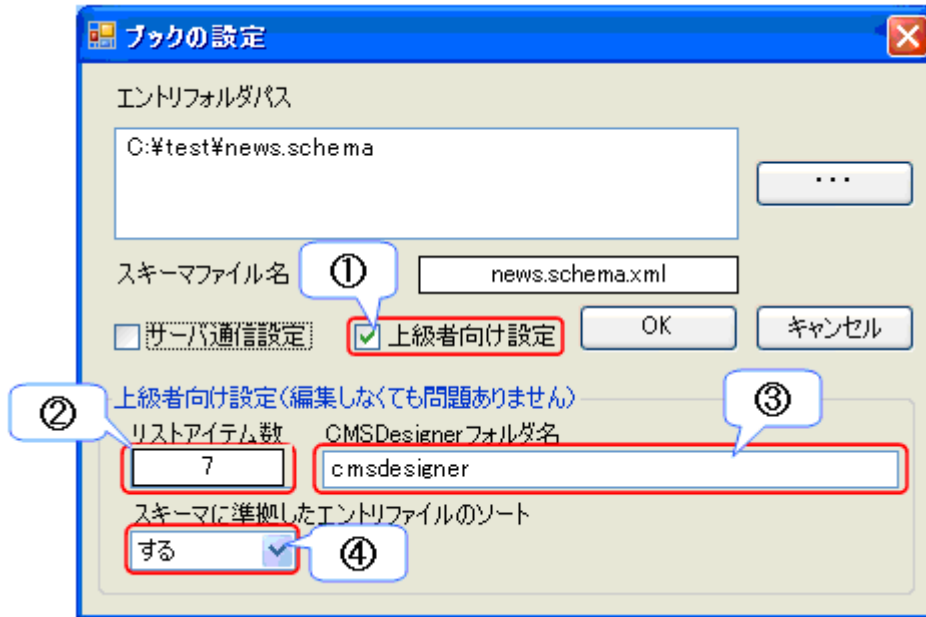
## 8. 応用テクニック サーバにエントリフォルダをアップロードする

この項目は、必ずサーバ情報を設定したあとに実行して下さい。

1. メニューの「エントリフォルダのアップロード」または、ツールバーの「アップロード」をクリックします。
2. 「エントリフォルダをアップロードしますか？」の確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。
3. フォルダの選択が正しい場合は、自動的にファイルをサーバにアップロードします。  
設定が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

## 9. 応用テクニック 上級者向け設定

ブックの設定画面では、通常は使用しませんが、必要に応じて変更する設定項目がいくつか存在します。これらの設定方法とその意味について以下に説明します。



(図 ブックの設定 上級者向け設定)

上級者向け設定パネルを表示します。

リストアイテム数が表示されます。

サーバにおける CMSDesigner のインストールフォルダが「cmsdesigner」ではない場合、ここで名称を設定します。

スキーマにてエントリファイルのソート順が設定されている場合、それに準拠するか否かを設定します。